

道の駅たるみずはまびら 開駅1周年の賑わい



1／人々の賑わう様子 2／垂水小学校金管バンドの演奏 3／道の駅本館マルシェ内の様子

11月23・24日、道の駅たるみずはまびら（たるたるぱあく）で1周年記念感謝祭が行われ、たくさんの人々で賑わいました。本館前に設けられたステージでは、垂水小学校金管バンドの演奏やマジックショー、音楽ライブなどのイベントが行われ会場を盛り上げ、本館マルシェや10月に開業した民間販売施設では、肉・魚・野菜などの特売も行われ、盛りだくさんの内容となりました。また、併設されるマリンパークたるみずでは、雄大な桜島を見ながらSUPやカヌーなどのマリンスポーツを楽しむ人々もあり、道の駅の賑わいに地元の人々や観光客に笑顔が溢れました。

11月26日、垂水校区合同金婚式が垂水市市民館で開催されました。金婚式は、結婚50年目を祝うもので、垂水校区の合同金婚式は昭和61年頃から行われており、今年度は10組のご夫婦が金婚式を迎えられました。当日は私用等により2組の参加となりましたが、お祝いの言葉と記念品が贈呈され、参加者全員で金婚式を祝いました。また、園児によるお遊戯や合唱、踊りなども披露され、会場が賑わいました。



結婚50周年を祝し
垂水校区合同金婚式

令和元年度垂水市社会教育功労者表彰 7個人、1団体の功労者を表彰



左上から、おかめ会（代表）神崎ルミ子さん、中馬英機さん、後迫智洋さん（代理）、篠原カツ子さん、迫田清子さん、（尾脇市長）、内倉要子さん、川畑千代子さん

11月22日、垂水市社会教育功労者表彰式が垂水市民館で開催されました。これは、多年にわたり社会教育に尽力し、特に功労のあった団体および個人を表彰するものです。垂水市教育委員会では今後も「学びあう社会の構築」や「地域文化の促進」に取り組み、社会教育の充実と振興を図ってまいります。皆様のご尽力に心から敬意を表します。

【社会教育功労者功績内容の紹介】

内倉要子さん（新城地区）
地区女性部の中心的存在で、地域づくり、公民館活動や地域振興に貢献。

迫田清子さん（垂水地区）
日本舞踊指導者として後継者育成や文化の継承を実践。文化協会役員として、協会の発展・向上に寄与。

末次まさ子さん（垂水地区）
日本舞踊の会主、文化協会発足時からの会員として、協会の発展・向上、芸術文化振興に寄与。

後迫洋さん（協和地区）
公民館主事として児童生徒の健全育成に尽力。地域振興、公民館活動の充実・発展に寄与。

篠原カツ子さん（協和地区）
地区公民館厚生活動を推進し、高齢者と寄り添い地域の元気に尽力。

中馬英機さん（水之上地区）
公民館長・主事として長年公民館活動に貢献。地域づくり、地域の発展に寄与。

川畑千代子さん（垂水地区）
子育てボランティアとして子育てサロンの立ち上げに尽力。子育て事業、幼児教育に貢献。

おかめ会
牛根地区を中心に、福祉施設への訪問や小学校行事への参加など、地域振興に貢献。

11月23日、協和地区文化祭、相撲大会が協和地区公民館で開催され、恒例の赤ちゃん土俵入りが行われました。これは、豊年と赤ちゃんの健やかな成長を願うもので、協和地区の伝統行事となっています。今年は、7人の赤ちゃんが力士役の男たちと土俵入りをし、それぞれの名前の書かれた色紙に手形・足形を押し、破魔矢などの縁起物が家族に配られました。赤ちゃんたちが土俵入りした周りでは、家族や地域の方々の温かい笑顔が溢れていました。



協和地区恒例行事
赤ちゃん土俵入り